

## 北陸新幹線の早期全線フル規格整備の実現と関西圏及び中京圏とのアクセスの維持向上を求める決議

安倍首相が掲げる「地方創生回廊」の実現のために必要不可欠な北陸新幹線の整備促進については、金沢開業による活況がその効果を顕著に物語っているとともに、本来、太平洋側に一旦緩急あれば、東海道新幹線の代替補完機能を果たす役割を持つ重要な国家プロジェクトでもある。

早急な全線フル規格整備が強く望まれる中、平成34年度末の金沢－敦賀間の確実な開業はもとより、昨年末に小浜－京都ルートで決定した敦賀以西についても一日も早い完成が待たれるところであるが、平成43年の着工を前提とした試算が国土交通省から示されている現状については、工事の前倒しを求める声が上がっている。また、このまま全線開業に至る期間が長期化し、敦賀駅での乗りかえ負担も長期化すれば、期待される新幹線の整備促進の効果が得られなくなるだけでなく、北陸地域と関係の深い関西圏及び中京圏との交流が停滞する恐れもある。

よって、本市議会は、国に対し、一日も早い北陸新幹線の全線フル規格整備の実現と、並行在来線区間への特急乗り入れ等の検討を進めるなど、敦賀開業後も関西圏及び中京圏とのアクセスの維持向上を強く求めるものである。

ここに、決議する。

平成 29 年 6 月 26 日

石川県金沢市議会議長 黒 沢 和 規